

第18回新幹線運転職場代表者会議開催！



第18回「新幹線運転職場代表者会議」が5月24日～25日の日程で長野・湯田中温泉にて開催されました。今年は、長野新幹線車両センターが準備職場となり準備を進めてきましたが、長野・善光寺の御開帳（7年に一度）に重なりこの時期となりました。

会議は、全体で22名の参加を得て行われ、佐藤悟会長（長野）の挨拶から始まり、準備地本として長野地本・佐藤書記長のご出席をいただき、挨拶を受けました。続いて、東日本運転協・木立議長、東日本調査部長・武笠執行委員と挨拶を頂きました。各人の挨拶主旨は以下の通りです。

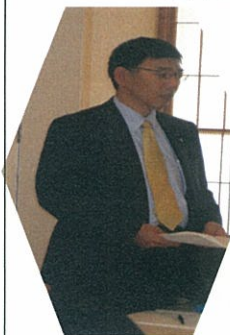
* 長野地本・佐藤書記長より JR不採用事件の長野での取組み強化について組織の強化・拡大について、長野での新採獲得、地域にも運動を理解してもらう取組み。

* 東日本運転協・木立議長

この一年新幹線要求の交渉が行われなかったことに関して
検修業務の外注化問題、設備・駅業務に続いて車両メンテナンスでも外注化が進んでいる現状と安全問題。

* 東日本・武笠調査部長

JR不採用事件の現状と取組み中労委へのあっせん申請の現状とこれからについて安全・安定輸送に関して昨年末の新幹線・輸送障害による運輸局からの警告書発令等労働条件改善の闘い整備新幹線問題（北陸・東北の新青森開業に関して）



この代表者会議は、新幹線運転職場独自の要求を作り本社と交渉を行うため、各職場の実情を交流しあい、統一した要求を作成するための場となっています。

この間、要求を練り上げ「申」を作成し、本社に提出してきましたが、交渉が行われたいまま推移してきました。しかし、東日本・武笠調査部長の御挨拶にもありましたが、この一年を見ても要求を突きつけたことによって解決してきた項目がいくつか出ています。

これは、とりもなおさず会社側に問題点を認めさせ、改善を余儀なくされてきた会社側に対する私たちの成果であることを会議の場で確認しあいました。

討議の前段、佐藤会長より

「昨年は新幹線にまつわる重大事故が続きました。期限切れ車両が発生したり、油化した機器の蓋閉め忘れ等、車両に関する原因も少なからずあります。

このようなことが、なぜおきるのか。また、対策についても議論をお願いしたい。各車両センターの実態も

合わせて意見をお願いしますとの提起を受け、各職場の実情を出し合いました。



今回の会議で出された職場の現状・意見の主旨等は以下の通りです。

① 輸送障害・事故関係

- ・ 昨年大きな輸送障害事故がおきたが、9月の事故もまだ解明されていない。
- ・ 検査期限切れが発生。指令との相互確認をしっかりと行うこと。
- ・ 床下の蓋閉め忘れて、大きな輸送障害発生。以前にもあったが、そのときは夏場で大事に至らず、対策の強化が求められる。

② 新幹線の延長に関して

- ・ E5系が導入（7両化）される予定。職場で対策プロジェクトがたち上がった。
- ・ 新駅開業で業務量が増大することから、要員増の話が出ている。今後、転勤に関する話がでてくる。差別を起こさせないよう、取り組みを。

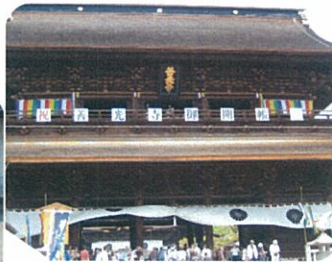
③ 乗務員から

3月のダイヤ改正で日勤行路1200キロが初めて出てきた。今後も広まるのか、心配。冬季、那須塩原で乗務員が通路の足場が悪く転んで骨折した。その後、通路は改修工事が入りよくなったが、同じような危険な箇所がまだまだたくさんある。要求化していく。

④ その他

- ・ ダイヤ改正で仕業検査10本になったが、連日13本も出ている。要員が伴っていないのに、業務量だけが増えている。
- ・ 今期は小雪のため故障が少なかった。その中でもトイレ関係の故障が出たが対策が出ていない。

二日目、まとめとして挨拶にたった佐藤会長は皆さんからの貴重なご意見を集約して、今年も要求化していくことにします。来年は、盛岡での開催を予定しています。ご協力を宜しく願います。と締め括り、「団結ガンバロー」を三唱し終了しました。



会議終了後には時間の許す方々と善光寺の歴史を学びました、地元で様々歴史研究をしています、山崎義明さんに一般の人には知られていない、善光寺の魅力を案内していただきました。

今回、準備をしていただきました長野地本佐藤書記長はじめ佐藤悟会長、そして、案内していただきました山崎さん大変ありがとうございました。又、仙台総合車両センターから参加いただきました大友さんと、ご尽力いただきました東日本工作協議会小野議長にこの紙面を借りましてお礼申し上げます！今後も共に力を合わせて安全な車両の確保と職場労働条件改善に取り組みましょう！